

3号様式の1

排出量削減計画書

		☒ 新規 ☐ 変更	
(宛先) 京都府知事		令和 8年 6月17日	
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府宮津市字由良73番地		氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社松林 代表取締役 松林威寿 電話 0772 - 26 - 0051	

主たる業種	石油卸売業	細分類番号	5	3	3	1
事業者の区分	☐ 産業部門 主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択 ☒ 業務部門 ☐ 運輸部門					
計画期間	8年4月 ～ 11年3月					
基本方針	弊社主要顧客である建設会社向けに販売する燃料を運搬する際に、車両から発生する軽油由来のCO2については、出光興産が販売しているJ-クレジットを付与した「出光カーボンオフセットfuel J」にてオフセットを行ってきたが、さらに営業車が使用するガソリン、暖房用の灯油・ガス、電気についても京都府府有林J-クレジットを用いて、完全オフセット達成を目指す。					
計画を推進するための体制	代表取締役を中心に、事務担当者がCO2排出量の管理 (CO2の見える化) を行い、令和7年度を基準年度とした実行計画の進捗管理を行う。					
削減率						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (7) 年度	第1年度 (8) 年度	第2年度 (9) 年度	第3年度 (10) 年度	3年平均増減率 (基準年度比)
	事業活動に伴う排出の量	609.9 トン	585.9 トン	585.9 トン	585.9 トン	-3.9 パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	トン	314.3 トン	314.3 トン	314.3 トン	
	評価の対象となる排出の量	609.9 トン	271.6 トン	271.6 トン	271.6 トン	-55.5 パーセント
	年度ごとの増減率 (基準年度比)		-55.5 %	-55.5 %	-55.5 %	
	目標の根拠	年度末にオフセット出来ていないCO2をすでに購入済みのJ-クレジット (150t-CO2) を用いて完全オフセットを達成させる。				
具体的な取組及び措置の内容	1年目	CO2排出量の見える化と排出量の管理				
	2年目	LCAの管理を徹底し、余分な排出量を抑制し、J-クレジットそのものの使用を抑える。				
	3年目	B5軽油の使用を開始し、混合されているBDF以外の95%の軽油については、Jクレジットを用い100%オフセットを実現させる。				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	活動地域でのCO2排出量削減や廃食油回収による再生エネルギーの地域内循環の啓蒙活動を行い、建設業界におけるCO2削減の理解を深める営業活動を推進し、脱炭素燃料普及をさらに進める。					
特記事項	大林組様と共同で回収した廃食用油を、100%バイオディーゼル燃料 (以下、B100燃料) に精製し、大林組が手がける2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) の建設工事で稼働する建設機械の燃料として活用する実証実験を行った。 https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20230615_2.html					

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
2 「細分類番号」とは、統計法 (平成19年法律第53号) 第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。